

一般財団法人いばらき盲導犬協会 令和3年度事業報告書

1. 訓練業務／認定業務

以下の業務は、本法人の本来の業務（盲導犬育成）としておこなったものである。

1.1 候補犬の繁殖・譲受等

自家繁殖により2頭の仔犬が誕生、ブリーダーより1頭の仔犬を購入、他団体より1頭の成犬を譲受し、4頭の盲導犬候補犬を新規に確保した。

1.2 研修会・訪問指導

仔犬飼育ボランティアを対象とした合同研修会「しつけ教室」は、コロナ禍のため回数を減らした（5回）。代わりに各家庭を頻回に訪問して個別の指導をおこなった（8頭の仔犬に対し22回）。

1.3 犬の訓練（基本訓練、誘導訓練）及び飼育（通院等の健康管理を含む）

7頭の犬に対して、盲導犬の候補犬としての飼育、及び訓練をおこなった。そのうち1頭を盲導犬として認定、3頭をキャリアチェンジ犬とした（2頭を譲渡、1頭を広報犬として確保）。残りの3頭については引き続き次年度に訓練をおこなう。

1.4 フォローアップ

盲導犬使用者全員に対して現地での定期フォローアップをおこなった（5頭に対し合計9回）。また、非定期的フォローアップを1頭に対して1回おこなった。

1.5 共同訓練・認定

視覚障害者1名について共同訓練をおこない、1頭を盲導犬として認定した（東京都；視覚障害2級；公的給付の対象外）。

一覧：保有犬の訓練／新規獲得の状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

訓練した犬			新規（繁殖）
7			2
盲導犬認定	進路変更	訓練継続	新規（購入／譲受）
1	3	3	2

一覧：保有犬の状況（令和4年3月31日現在）

盲導犬	訓練犬	繁殖犬	広報犬	仔犬	合計
5	3	2	4	6	20

2. 広報啓発業務

以下の業務は、日本における盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業に対して社会の理解を求める目的でおこなったものである。

2.1 学習会・見学会の開催

一般の希望者を募り、定期的に施設内で開催している学習会・見学会について、本年度はコロナウイルスの感染拡大防止に鑑み、開催を見合わせた（0回）。

2.2 出張講話・デモンストレーション

視覚障害と盲導犬についての講話（一部、実演を含む）を、依頼を受けて12回おこなった（企業、公共施設、地方公共団体、社会福祉協議会、高等学校、動物専門学校、教育委員会）。講話の主な対象者は次のようであった：小中学生、高校生、専門学校の学生、新入社員、公共施設職員、教員、福祉に関心を寄せる成人

2.3 イベント参加

企業や団体が開催するイベントに職員、役員、広報犬が参加し、広報啓発活動を展開した（2回；コロナウイルスの影響により、参加が予定されていたイベントが軒並み中止となった）。主な参加先は次のようである：県内の公益法人が主催する地域のイベント

2.4 イベントの開催

本法人が主体となり、視覚障害と盲導犬に関する啓発を主たる目的としたイベントを次のように開催した。

2.4.1 盲導犬写真パネル展（令和3年7月22日～27日／対象：約1800人）

株式会社水戸京成百貨店の協力のもと、同百貨店の催事場に盲導犬に関する写真を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう努めた。

2.4.2 盲導犬写真パネル展（令和3年8月19日～24日／対象：1500人）

ひたちなか市障害福祉課の協力のもと、ひたちなか市役所にて「盲導犬の一生」や「盲導犬の訓練」をテーマとした写真パネルの展示をおこない、市職員や来所者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。

2.4.3 盲導犬写真パネル展（令和3年12月1日～26日／対象：約600人）

ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社の協力のもと、ひたちなか市勤労者総合福祉センターにて盲導犬に関する写真パネルの展示をおこない、来所者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。

なお、以上3箇所に表示した写真は全てMOON LIGHT 小沼渉写真事務所（水戸市）が撮影。

2.5 支援団体との共同活動

ローリー基金（本法人の支援ボランティアグループ）、特定非営利活動法人チーム・ユーチャリス様、東海ライオンズクラブ様の活動へ職員、役員、広報犬を派遣し、共同で盲導犬普及啓発活動をおこなった。また、水戸フライングドッグクラブ（愛犬家団体）と共同でレトリバー愛好家を対象とした盲導犬育成事業のためのチャリティーイベントを開催した（11月21日）。

2.6 資料配布

上述した機会において、日本の盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業の概要をまとめた資料「配布用資料」（年度内2000部増刷）、並びに「協会だよりVOL7」（令和4年1月発行；2000部印刷）を配布し、盲導犬育成事業への社会の理解がより深まるよう務めた。

3. 財源強化充実のための取り組み

3.1 募金活動

広報活動を通じて個人、団体、企業へ支援の働きかけをおこなう他、安定した運営資金を確保するため募金活動を頻回におこなうように努め、あわせて新規の募金活動場所の開拓をおこなった。結果、上述した広報啓発活動の機会におこなった募金活動も含め、合計で180回となった。

3.2 賛助会員

賛助会員制度に変更を加え、盲導犬育成事業をより身近に感じていただくため、各会員が寄付金（会費）の使い道を指定できるようにした。具体的には、各会員は「繁殖のため」「医療のため」「施設整備のため」「公的給付以外での盲導犬貸与のため」の4通りから任意の使い道を指定できる。

4. その他

4.1 理事会・評議員会の開催

理事会		評議員会	
第1回	令和3年6月8日（火）	定時	令和3年6月8日（火）
第2回	令和4年3月22日（火）		
場所：理事会は本法人の訓練施設にて開催、定時評議員会は決議の省略（みなし決議）			

4.2 人事・陣容

ホームページを通して研修生の募集をおこない、複数人に対し面談をおこなった（採用なし）。

4.3 他団体主催の行事等への参加（広報啓発業務以外）

毎年度、助成金、目録等の受け取りや自己紹介、挨拶をおこなう目的で、他団体の主催する行事に職員や役員、広報犬が参加するが、本年度はコロナウイルスの影響により2回となった。

4.4 附属明細書

本報告書に補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は作成しない。

以上、令和4年6月14日、理事会、及び定時評議員会にて承認